

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年2月10日
【四半期会計期間】	第41期第3四半期（自平成27年10月1日至平成27年12月31日）
【会社名】	株式会社 アイビー化粧品
【英訳名】	IVY COSMETICS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 白銀 浩二
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03(3568)5151(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理部長 兼 経理部長 中山 聖仁
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03(3568)5151(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理部長 兼 経理部長 中山 聖仁
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第3四半期連結 累計期間	第41期 第3四半期連結 累計期間	第40期
会計期間	自平成26年 4月1日 至平成26年 12月31日	自平成27年 4月1日 至平成27年 12月31日	自平成26年 4月1日 至平成27年 3月31日
売上高 (千円)	2,998,093	3,602,755	4,488,867
経常利益 (千円)	100,588	391,777	375,709
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	43,730	204,667	235,988
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	44,979	204,411	238,841
純資産額 (千円)	2,985,740	2,754,689	2,749,375
総資産額 (千円)	5,504,310	5,317,897	5,526,134
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	2.02	10.32	11.05
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	54.2	51.8	49.8

回次	第40期 第3四半期連結 会計期間	第41期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成26年 10月1日 至平成26年 12月31日	自平成27年 10月1日 至平成27年 12月31日
1株当たり四半期純損失金額 (円)	8.65	9.49

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の下振れリスクは懸念されるものの、政府の経済好循環、需要の継続的拡大に向けた積極的な各種政策の動きにより、回復基調の継続が期待されています。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」とともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

平成27年は企業テーマに「Beauty」を掲げ、「なりたい自分になれる」当社独自の世界を再構築すると共に、多様化する販社固有の問題解決と地域ユニット別、売上カテゴリー別戦略を継続推進し、美しく生きる人を育む活動を通して、多くの女性の美しさ実現を支援しております。

具体的には当四半期のコア事業におきましては、季節強化販売により顧客満足向上と定着化を図るため、保湿美容液及び「アイビーコスモス」スキンケアシリーズのセット販売に全社を上げて取り組みました。また、11月に「キレイな手が心を繋ぐ」をコンセプトにした「ナチュラル モイスト ハンドクリーム」（医薬部外品）を、12月にはメークアップコンパクト、フェースカラー及びまつ毛美容液をセットした数量限定製品「アイビー プレミアム シャイニー コレクション」をそれぞれ新発売し、拡販戦略製品として新規客増客と紹介促進に活用し、美しい人づくりに努めてまいりました。それらの推進力となる販売稼働者の拡大に継続注力したことで、前年同四半期比で営業所増設は108.5%増、ビューティマネージャー増員は7.9%増、アイビーメイツ増客は20.6%増となり、売上面におきましては増収となりました。

台湾事業におきましては、市場拡大を継続展開することで、新規顧客、リピート客の拡大に努めてまいりました。

利益面におきましては、販売費及び一般管理費は増加したものの、第2四半期までの美容液やスキンケア製品の取り組み、売上原価低減による収益効果もあり売上総利益は増加し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前年同四半期比で増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,602,755千円（前年同四半期比20.2%増）、営業利益393,623千円（同313.9%増）、経常利益391,777千円（同289.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益204,667千円（同368.0%増）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、163,922千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成28年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	25,520,000	25,520,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	25,520,000	25,520,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成27年10月1日～ 平成27年12月31日	-	25,520,000	-	804,200	-	343,800

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,689,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,679,000	19,679	-
単元未満株式	普通株式 152,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	25,520,000	-	-
総株主の議決権	-	19,679	-

【自己株式等】

平成27年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アイビー化粧品	東京都港区赤坂6丁目18番3号	5,689,000	-	5,689,000	22.29
計	-	5,689,000	-	5,689,000	22.29

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が3,000株(議決権の数3個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれております。

平成27年12月31日現在の実質所有の自己株式数は、5,690,457株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成27年10月1日から平成27年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東光監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,314,425	1,455,242
受取手形及び売掛金	1,332,651	775,872
商品及び製品	393,281	551,792
仕掛品	14,456	15,932
原材料及び貯蔵品	188,281	251,695
その他	154,850	185,654
貸倒引当金	6,160	6,842
流動資産合計	3,391,785	3,229,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	368,205	356,713
機械装置及び運搬具(純額)	63,356	53,085
土地	521,190	521,190
リース資産(純額)	7,771	6,400
その他(純額)	40,298	29,937
有形固定資産合計	1,000,821	967,326
無形固定資産	27,780	23,434
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	300,716	320,198
投資不動産(純額)	264,463	260,821
差入保証金	375,312	324,567
その他	208,035	241,093
貸倒引当金	55,173	60,805
投資その他の資産合計	1,093,354	1,085,876
固定資産合計	2,121,956	2,076,636
繰延資産		
社債発行費	12,392	11,913
繰延資産合計	12,392	11,913
資産合計	5,526,134	5,317,897

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	495,652	410,948
短期借入金	670,000	350,000
1年内償還予定の社債	84,000	124,000
未払法人税等	46,164	101,195
賞与引当金	67,499	42,710
ポイント引当金	271	252
返品廃棄損失引当金	10,000	-
その他	448,915	486,029
流動負債合計	1,822,503	1,515,137
固定負債		
社債	832,000	920,000
その他	122,256	128,070
固定負債合計	954,256	1,048,070
負債合計	2,776,759	2,563,207
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	3,415,401	3,421,751
自己株式	1,701,082	1,701,863
株主資本合計	2,862,318	2,867,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,201	4,946
土地再評価差額金	118,145	118,145
その他の包括利益累計額合計	112,943	113,199
純資産合計	2,749,375	2,754,689
負債純資産合計	5,526,134	5,317,897



(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,998,093	3,602,755
売上原価	701,398	692,226
売上総利益	2,296,695	2,910,529
販売費及び一般管理費	2,201,588	2,516,906
営業利益	95,106	393,623
営業外収益		
受取利息	2,829	2,677
受取配当金	507	436
受取保険金	41,604	-
受取賃貸料	28,572	31,895
雑収入	17,170	15,474
営業外収益合計	90,685	50,484
営業外費用		
支払利息	10,466	8,629
賃貸収入原価	30,431	33,985
被災資産修繕費	30,253	-
雑損失	14,051	9,714
営業外費用合計	85,203	52,330
経常利益	100,588	391,777
特別損失		
減損損失	866	1,263
特別損失合計	866	1,263
税金等調整前四半期純利益	99,722	390,513
法人税、住民税及び事業税	19,016	153,881
法人税等調整額	36,974	31,964
法人税等合計	55,991	185,845
四半期純利益	43,730	204,667
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,730	204,667

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	43,730	204,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,248	255
その他の包括利益合計	1,248	255
四半期包括利益	44,979	204,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,979	204,411

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
減価償却費	69,607千円	76,950千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	108,165	5.00	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	198,316	10.00	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	2円02銭	10円32銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	43,730	204,667
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	43,730	204,667
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,632	19,830

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年2月9日

株式会社アイビー化粧品

取締役会 御中

東光監査法人

指定社員 公認会計士 鈴木 昌也 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 中島 伸一 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アイビー化粧品の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成27年10月1日から平成27年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイビー化粧品及び連結子会社の平成27年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。